

平成20年度関東高等学校男子バスケットボール大会 兼 第62回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成20年 5月31日(土)	ひたちなか市総合運動公園体育館	大会1日目	Aコート	第3試合 12:00~													
<チームA> 県立宇都宮工業 栃木 1位		84 { <table border="0"> <tr><td>21</td><td>1Q</td><td>23</td></tr> <tr><td>19</td><td>2Q</td><td>33</td></tr> <tr><td>24</td><td>3Q</td><td>28</td></tr> <tr><td>20</td><td>4Q</td><td>35</td></tr> </table> } 119		21	1Q	23	19	2Q	33	24	3Q	28	20	4Q	35	<チームB> 京北 東京 3位	
21	1Q	23															
19	2Q	33															
24	3Q	28															
20	4Q	35															

【Aブロック】

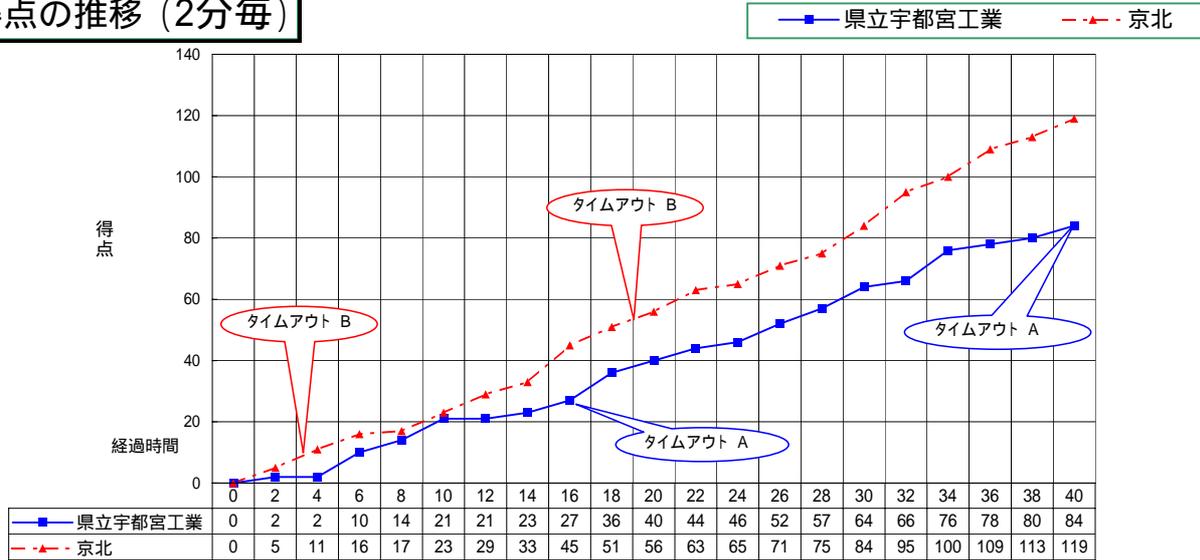
主審：佐藤 弘之(群馬) 副審：川北 聖人(茨城)

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	水沼 孝広	25	6	2	3	2
	5	桑川 岳勤	6		2	2	3
	6	横塚 螢	29	3	8	4	
	7	石崎 駿	9		4	1	5
	8	斎藤 渉太	2		1		2
	9	新屋 明夫	9		4	1	5
	10	吉田 聖彦					
	11	森川 正樹					
	12	遠藤 真慶					
	13	栗國 正宗					
	14	福田 高平					
	15	大塚 一樹					
	16	佐野 佑太					
	17	野沢 賢司					
	18	齋川 直人					
コーチ		千村 隆					
* 合計			80	9	21	11	

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
	4	萩原 和也	7	1	2		
	5	工藤 竜二					
	6	目 健人	24	1	10	1	3
	7	池田 龍之介	33	5	7	4	3
	8	平久保 秀紀	6		3		3
	9	前川ジェシイ	14	1	5	1	3
	10	皆川 徹	21		9	3	2
	11	田辺 勇海	6		2	2	1
	12	加藤 元気	2		1		
	13	中満 翔太郎	2		1		
	14	福田 皓平	2		1		
	15	佐藤 祥					
	16	山中 悠平	2		1		
	17	菅野 駿平					
	18	山内 翼					
コーチ		田渡 優					
合計			119	8	42	11	

：スターター / 出場 / 3P:3点シュート成功本数 / 2P:2点シュート成功本数 / FT:フリースロー成功本数

得点の推移 (2分毎)



戦 評

記入者： 本橋 靖史

第1P, 宇都宮工(以下 宇工)はオールコート2-2-1~2-3ゾーン, 京北はオールコート2-1-2ゾーン~2-3ゾーンでスタート。まず京北が流れを掴む。目の3pシュート, 速攻からのポイントなどで, 一時点差を7点に広げる。対する宇工は 横塚と 水沼の3pシュート, 桑川のスティールからのシュートなどで反撃, 21-23京北2点リードで第1Pを終える。

第2P, 両チームとも第1Pと同じディフェンスでスタート。宇工は京北のオールコートのゾーン, ハーフコートでの変則的なゾーンに対応できず, ミスが出始める。京北は 平久保, 萩原のスティールからの速攻などで得点を重ねる。残り5分, 点差が18点に広がり, 宇工がタイムアウト。宇工は 横塚のドライブインなどで得点を返すが, 京北も 平久保の合わせからのシュート, 池田の3pシュートなどで反撃を許さず, 40-56でこのピリオドを終了。

第3P, 両チームともディフェンスに変化はなし。ピリオド序盤, 宇工はミスが増える。その隙を突いて京北は 山中のゴール下のシュート, 池田の速攻からのシュートなどで点差を広げる。宇工は 水沼の3pシュートなどで盛り返すが, 64-84の京北20点リードでこのピリオドを終了。

第4P, 宇工はディフェンスの戻りが遅くなる。京北はリバウンドからの 池田の速攻や 萩原の3pシュートなどで点差をさらに広げる。残り3分, 京北は主力を温存するが, 点差は縮まらず, 84-119でゲームは終了。